

Press Release

報道関係者各位

2014年9月吉日

エイピーピー・ジャパン株式会社

## アジア・パルプ・アンド・ペーパーには 自然林伐採ゼロ誓約に十分な植林地があることが明らかに

- 自然林伐採によらない植林木 100%製品の長期実行の可能性が、調査により確認される。
- 森林保護方針 18 ヶ月後の最新情報報告の一環として発表が行われた。

【2014年9月吉日】—ジャカルタ—アジア・パルプ・アンド・ペーパー・グループ（APP）は、独立調査により、既存の工場に加えて南スマトラ、OKI の新規工場のパルプ需要を満たすに足りる、十分な植林資源を持っていることが、本日、確認されました。

2013年2月の森林保護方針（FCP）の立ち上げに際し、自然林伐採に積極的に関与しない原料から紙パルプ製品を生産するという APP の誓約が示されました。既存の供給会社の植林地にこの誓約を履行できる十分な生産能力があることを保証するため、フォレスト・トラスト（TFT）とアタ・マリーは、全植林地域を評価する独立した「成長性と収率」調査を委嘱されました。

「100%植林木という APP の目標達成に十分な資源が当社とその原料供給会社にあることを、皆様に対して再確認ができることを嬉しく思います。我々は 2020 年にわずかな不足が出ることを確認しましたが、これは、今から植林事業活動の生産性を上げていけば容易に補填できます」とフォレスト・トラストの事務局長スコット・ポイントン氏は述べています。

APP の持続可能性担当役員であるアイダ・グリーンベリーは次のように述べました。「FCP は当社のビジネスモデルの中核であり、今回の調査はそのモデルが十分に機能していることを証明してくれました。つまり、当社はインドネシアや世界の自然林に悪影響を与えることなく、事業活動を有利に継続および拡大できるということです」

「TFT の報告書は 2020 年の供給にわずかな不足が出ると予想しています。しかし、伐採サイクルを約 5 年とし、収率を上げ、蓄材量を増やし、廃材を削減して原料供給会社の植林地の生産性を向上するなど、今から改善を行うことによって、この不足分が補えることは明らかです」

「このように、当社はパルプ生産を 100%植林木由来にするという目標に沿って、既存の工場と南スマトラの新規工場のパルプ需要を満たす十分な植林地があることを保証するため、行動計画を策定してきました。」

この報告書の評価手法と結論は、現在実施されている FCP の独立した検証の一環として、レインフォレスト・アライアンスによって検証されることになっています。

今回の発表は、FCPの実施状況に関するAPPの18ヶ月目の報告の中で行われました。この18ヶ月間、カーボンおよび生物多様性評価が行われている期間中、APPはすべての自然林の伐採中止を効果的に実施してきました。すべての評価（高保護価値（HCV）と高炭素貯蔵（HCS）、泥炭地、社会）の結果は、現在、景観レベルの持続可能な総合森林管理計画（ISFMPs）に段階的に統合されているところです。

今回のAPPの報告書は、2014年4月に発表された、インドネシアの森林100万ヘクタールの保護および再生の支援に関するAPPの誓約についての最新情報を提供するものでもあります。この誓約の発表以降、当社はNGOや政府など、さまざまな主要ステークホルダーと協力して計画段階の活動に取り組んでいます。その一環として、保全活動の対象として選ばれた10ヶ所の景観地域の初期マッピングが終了しました。またこのプロセスでは、環境保全の重要性、主要な脅威、各景観地域で土地の権利を持つステークホルダーなどが確認されました。

「FCPの立ち上げに伴って当社が自然林伐採ゼロの旅路に乗り出してから、18ヶ月になります。なすべきことはまだ多く残されていますが、当社は短時間で多くのことを達成してきましたし、正しい道を進んでいると自負しています」とアイダ・グリーンベリーは付け加えました。「この方針に着手したとき、当社は未知の領域に踏み出しました。しかしそれ以来、“自然林伐採ゼロ”の動きは益々世界的規模になりつつあります。企業、政府、市民社会の皆様からの支援も増え続けており、世界中の自然林伐採の終焉に向けて先駆的役割を果たしていることに、当社は誇りを感じています」

詳細については、APPの18ヶ月目のFCP最新状況報告書を下記URLからダウンロードしてください：  
<https://www.asiapulppaper.com/sustainability/vision-2020/reports>

---

### <APPについて>

アジア・パルプ・アンド・ペーパー（APP）は、インドネシアと中国の紙パルプ製造企業グループの総合ブランド名です。APPグループの企業群は世界最大級の紙パルプ一貫メーカーであり、紙、パルプ、加工製品の合計生産能力は年間約1,900万トンです。APPインドネシアとAPP中国は現在、6大陸の120ヶ国を超える国々で製品を販売しています。APPの大多数の生産工場はSVLK、LEI、PEFCの加工・流通過程認証を取得しています。APPは2012年6月に「持続可能性ロードマップ ビジョン2020」を、2013年2月に森林保護方針を立ち上げ、自然林伐採停止、生物多様性の保全、地域コミュニティの権利保護のさらなる向上を目指しています。詳細は下記リンクにてご覧いただけます。

[www.asiapulppaper.com](http://www.asiapulppaper.com)

---

### <APP ジャパンについて>

APP ジャパン（エイビーピー・ジャパン株式会社）は、インドネシアのジャカルタを本拠とする総合製紙企業APPグループの日本における販売会社です。1997年の設立以来、16年以上にわたり日本市場のお客様のニーズにお応えするため、印刷、情報用紙、板紙、コピー用紙、文房具などの分野で、多様な紙及び板紙製品を提供しております。

[www.app-j.com/](http://www.app-j.com/)

---

**<本リリースに関するお問い合わせ>**

エイピーピー・ジャパン株式会社

コーポレートコミュニケーション本部

山梨 真美 (やまなし まみ)

T: 03-5217-1263    Email: [mami-yamanashi@appj.co.jp](mailto:mami-yamanashi@appj.co.jp)

エイピーピー・ジャパン広報代理

エデルマン・ジャパン株式会社 末次、小保内 (おぼない)

Tel: 03-6858-7711    Email: [APPJapanPR@edelman.com](mailto:APPJapanPR@edelman.com)

---